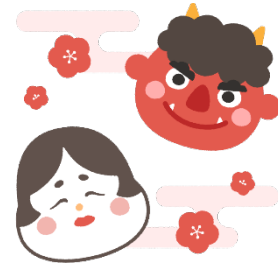


やすらぎ短信

令和6年
2月号

節分と豆まき



二月の行事として馴染み深い節分ですが、実は年に四回あります。節分とは元来、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日を指し、季節を分ける日とされています。取り分け「立春」は、「春のはじまり」や「旧暦の一月一日」を指す大切な日とされ、立春前日の節分は厄災を祓う儀式が行われてきました。二月三日の節分に行われる「豆まき」は、厄災を鬼と見立てて、追い払う儀式であり、その起源は古く平安時代に宮中で行われていた追儺（ついな）、鬼やらいといった鬼を弓矢で払う儀式が基になっています。家族で「鬼は外。福は内。」の掛け声と

ともに豆をまき厄災を祓う風習は、家族同士、怪我や病気が無く健康に暮らすことを再確認し、厄災を防ぐための心構えを持つ意味でも大切な行事の一つです。

節分の食べ物

●恵方巻

恵方とは、その年の福徳をつかさどるとされる神様である歳徳神（としとくじん）がいらっしゃる方角で、その方角を向いて無言で食べると万事に吉といわれています。ちなみに今年の恵方は「東北東やや東」です。



●いわし・柊（ひいらぎ）・南天

玄関や鬼門、裏鬼門に飾ります。
いわし 臭いで鬼を払う。
柊 トゲが鬼の目を刺す。
南天 難を転じるゲン担ぎ。



節分・厄祓いのご案内

浦幌神社では、二月三日の節分に「厄祓い・健康祈願」と「豆まき神事」を行っております。（時間と厄年表は左記の通り）皆様のご参列お待ちしております。尚、左記の日時以外を希望の場合、予約で一年中受けております。

（電話）〇一五―五七六一―二四四八

日時 二月三日（土）・四日（日）

午前 九時 十時

午後 一時 三時 六時

令和6年 厄年の方（かぞえ年）

男 性			女 性		
24歳	平成13年生	前厄	18歳	平成19年生	前厄
25歳	平成12年生	本厄	19歳	平成18年生	本厄
26歳	平成11年生	後厄	20歳	平成17年生	後厄
41歳	昭和59年生	前厄	32歳	平成5年生	前厄
42歳	昭和58年生	本厄	33歳	平成4年生	本厄
43歳	昭和57年生	後厄	34歳	平成3年生	後厄
			36歳	昭和64年生/平成元年生	前厄
			37歳	昭和63年生	本厄
			38歳	昭和62年生	後厄
49歳	昭和51年生	本厄	49歳	昭和51年生	本厄
61歳	昭和39年生	還暦	61歳	昭和39年生	還暦
70歳	昭和30年生	古希	70歳	昭和30年生	古希
77歳	昭和23年生	喜寿	77歳	昭和23年生	喜寿
80歳	昭和20年生	傘寿	80歳	昭和20年生	傘寿
88歳	昭和12年生	米寿	88歳	昭和12年生	米寿

※玉串料は、3,000円・5,000円・10,000円(特別な「おふだ」を授与致します。)

※厄はらいは代理の方でも受けられます。

紀元祭 二月十一日

来る二月十一日、紀元祭を斎行致します。紀元祭とは、神武天皇即位日を国の紀元とし、日本の建国を偲び、国家の繁栄と世界の恒久平和を祈る祭典です。令和



樫原神宮

六年は、皇紀二六八四年を迎えます。世界一長寿の国、日本の誕生をお祝いし、皇室の弥栄をお祈り致しましょう。

天長祭 二月二十三日

来る二月二十三日、天長祭を斎行致します。天長祭は、天皇陛下のお誕生日に際して行われる祭典で、奉祝の意を表すと共に、陛下の長寿と益々のご健康をお祈り致します。陛下は今年で六十四歳の誕生日を迎えられます。



居皇

元旦祭並びに開運祭斎行

去る令和六年元旦、午前零時より元旦祭、午前十時三十分より開運祭を浦幌神社氏子会役員総代関係ご参列のもと、厳粛に斎行致しました。皇室の弥栄、国家の繁栄、国民の安寧を皆様と共に祈り致しました。今年は珍しく雪が降る中での年明けとなりましたが、日の出ころには雪も止み、一日穏やかな元日となりました。一方では、元日から石川県能登地方にマグニチュード7.6の能登半島地震が発生し、沢山の方々が犠牲になり、今も尚、避難生活を余儀なくされております。被災地の一日も早い復興と穏やかな日々が戻りますよう心からお祈り申し上げます。



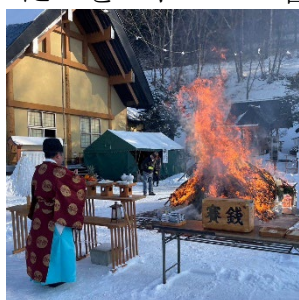
船霊祭を斎行

去る一月十一日、十勝太神社、厚内神社で船霊祭が斎行されました。お祭りでは、地元の海の幸がお供えされ、漁業関係者が参列、今年の海上安全と豊漁を祈念致しました。また、浦幌神社神楽舞月姫会による鈴舞(すずのみ)が和やかに奉納され、参列者から温かい拍手が送られました。



古神札焼納祭を斎行

去る一月十五日、古神札焼納祭が行われ、ご守護いただいたお神札、お守りの焼納を致しました。集まった氏子崇敬者の皆様は、焼納の煙にあたりながら、無病息災を祈りました。



発行 浦幌神社社務所
北海道十勝郡浦幌町宇東山町十八番地の一
電話 〇一五・五七六・二四四八